

群馬県河川協会 発行
(事務局：群馬県河川課)

NEWS

ハッ場ダム打設完了式が開催されました!



国土交通省ハッ場ダム工事事務所提供



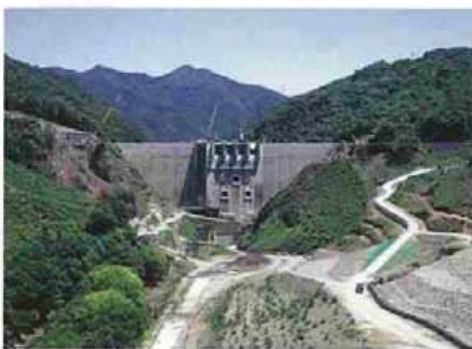
国土交通省ハッ場ダム工事事務所提供

令和元年6月12日、国土交通省によって長野原町で進められているハッ場ダム建設工事で平成28年6月から行われていたコンクリートの打設が完了することとなり、打設完了式が開催されました。式典には地元住民や大澤群馬県知事(当時)・上田埼玉県知事(当時)などの自治体関係者、地元の国会議員など約200名が出席しました。

式典では大澤知事らがスイッチを押し、最後のコンクリート打設を完了させた後、くす玉を割って打設の完了を祝いました。また、式典前には現場見学会も開かれ、国土交通省ハッ場ダム工事事務所の説明を聞きながら関係者が堤体の上を歩きました。

ダムの建設現場は珍しく、ダム見学会や堤体が見られる展望台にはこれまで大勢の人が訪れています。今後も地元観光協会によってダム見学会が開催されます。

ハッ場ダムで試験湛水が開始されました!



試験湛水



写真(右)
平常時最高水位に達した
ハッ場ダム
写真(左)
試験湛水前のハッ場ダム

ダムに水を貯める試験湛水が、令和元年10月1日から開始されました。試験湛水とは、平常時最高貯水位(常時満水位)まで水位を上昇させた後、最低水位まで降下させることにより、ダム堤体や貯水池周辺の安全性を確認する試験です。

10月15日には、平常時最高貯水位に到達し、貯水率が100%となりました。今後、安全性が確認されると、ダムの運用を始めることができます。ハッ場ダムは令和元年度末までに完成予定です。皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょうか。

(特定ダム対策課)

REPORT

群馬県河川協会講演会 「ダムの魅力とダムイベント」を開催

令和元年7月12日(金)に群馬県公社総合ビルにおいて、『令和元年度群馬県河川協会講演会』が開催されました。当日は、会員の皆様をはじめ、国・県・市町村の職員や県民の皆様約250名の御参加をいただき、盛大に執り行われました。

講演会は、ダムマニアの宮島咲さんをお招きして『ダムの魅力とダムイベント』と題し御講演をいただきました。写真を用いてダムの施設などについて説明したあと、ダムを訪れる観光客がダム好きか一般人かを見分けるコツや、ダムは完全オーダーメイドであってそれぞれ個性があること、また、個性の中に共通性を見出して更にダムを楽しむコツなどについてお話がありました。

また、ダムの見た目だけではなく、ダムには多くの用途があることに触れ、洪水調節をはじめ、飲み水の供給や発電など、私たちの暮らしを支えてくれている“現役で働く構造物”であると説明され、ダムを持つ町に感謝し、ダムが常に働いてくれていることに気付く気持ちが大切と話されました。

最後には、ダムカード収集やダムカレーに代表されるダムグルメ、県内のダムで行われている点検放流イベントなど、ダムに足を運びたいくなるようなダムの魅力を紹介され、名残惜しい雰囲気の中終了時間となり、大きな拍手に包まれて講演会は終了しました。

御参加いただいた皆様につきましては、ありがとうございました。



講師の宮島 咲 氏



参加者に「ダムとはなにか」
問いかける場面も

(河川課河川管理係)

REPORT

県内初配備の排水ポンプ車が台風19号で出動

大型で非常に強い台風19号の大雨により、県内各地で河川の増水が相次ぎました。

館林土木事務所管内においても、一級河川谷田川の水位が上がり、支川が流入できずに氾濫する内水被害が懸念されたことから、地元の要請を受け、排水ポンプ車を出動させて排水作業に当たりました。

10月12日の昼間から稼働をはじめ、排水作業は夜間まで行い、浸水被害を未然に防ぐことができ、明和町長からも「排水ポンプ車のおかげで、いつも浸水する箇所に被害が出なかった。迅速な対応にとっても助かった。」と感謝の言葉をいただきました。

排水ポンプ車運用開始に
伴う団結式の様子



排水ポンプ車全景



排水作業の様子

9月に群馬県(館林土木事務所)として初めて配備した排水ポンプ車は、事前の準備と訓練のおかげでスムーズに作業に当たることが出来ました。※配備された排水ポンプ車は毎分5立方メートルを排水できるポンプを6台搭載し計毎分30トンの排水能力を有しています。

(河川課川づくり係)

男井戸川(伊勢崎市豊城町大道西遺跡)で 検出された古代の道路跡

私たち「ぐんま史跡維持支援団」は、歴史的に重要な遺跡でありながら、様々な理由により史跡指定等の保護措置が図られていない県内の3遺跡において、それぞれの遺跡が地域の中で親しまれその存在が忘れられないようにするため、最低限の維持活動である草刈りを実施しています。

伊勢崎市豊城町に所在し、一級河川男井戸川がJR両毛線と交差する地点北側の調整池において、伊勢崎土木事務所と委託契約を結び実施している草刈りでは、除草後に男井戸川を横切る直線状の土盛りが姿を現します(写真1)。

この土盛りの下には、平成20・21年(2008・09)度に(財)(現・(公財))群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した、調整池の建設に先立つ発掘調査により検出された古代の道路跡(写真2)が保存されているのです。

道路は、下幅約10m、高さ約1.3m、上幅7m以上、長さ100m以上で、底部にササや木の枝を敷き、その上に下部は黒褐色粘質土と白色シルトブロックを含む土を交互に薄く、上部はローム土をやや厚く重ねて突き固める、“版築”という古代の宮殿・寺院等で使われた当時の最先端土木技術で建設されていました(写真3)。

この道路を西に向かった先には、古代の郡役所である佐位郡衙の跡と考えられる三軒屋遺跡(国指定史跡)が存在し、道路はその建物群の軸線に対しほぼ直交しています。

出土遺物や重複している遺構、堆積している火山灰の降下時期の検討から、この道路は佐位郡衙と関連して建設され、当時の税の米を納め、各種の届けなどのために人々の往來した道であったと思われます。

私たちは、この道路跡が国指定史跡三軒屋遺跡とともに保存・活用されるよう草刈りを続けたいと思います。

(写真2・3 群馬県教育委員会提供)

(「ぐんま史跡維持支援団」：飯島義雄・佐藤明人・津金澤吉茂・久保寺健夫)

「ぐんま史跡維持支援団」の皆様から御寄稿いただきました。
執筆の方々をはじめ、御協力いただいた皆様は、この場を借りて御礼申し上げます。
ありがとうございました。
(群馬県河川協会事務局)



(写真1) 草刈り後に姿を見せる土盛り(南西から)



(写真2) 検出された古代の道路跡
(三軒屋遺跡の所在する市立殖蓮小を望む。東から)



(写真3) “版築”の様子を示す道路の断面

「優良河川愛護団体表彰式」が行われました

群馬県と群馬県河川協会では、長年にわたり河川愛護・美化活動に尽力されている団体や個人を表彰しています。今年は12団体が選ばれ、表彰状と記念品を授与しました。

【受賞団体】

- ・城南地区地域づくり協議会（前橋市）
- ・津久田第二自治会河川愛護会（渋川市）
- ・伊与久自治会（伊勢崎市）
- ・殖運地区自然環境を守る会（伊勢崎市）
- ・鹿島町中下区自治会（伊勢崎市）
- ・倉淵ぼたるの会（高崎市）
- ・行田地区河川愛護会（安中市）
- ・三波川ホテルを守る会（藤岡市）
- ・坂詰愛護会（下仁田町）
- ・三原ふる里クリーン（嬬恋村）
- ・学校法人峰学園 すぎの子幼稚園
社会福祉法人峰悠会 おおぞら幼保園（桐生市）
- ・千代田町上五箇地区河川愛護会（千代田町）



〇受賞者を代表して、すぎの子幼稚園・おおぞら幼保園の小池様からコメントをいただきました。

登園に隣接する鍋木川は、園児達が四季折々の川遊び体験教室を実践しております。その中の一つが河川敷の美化活動で、きれいになった鍋木川に、2月にヤマメ放流体験をしており、今年で21年目になりました。この度の表彰を園児達や保護者、地域の方々にご報告し、園児達と鍋木川の環境美化と質の高い教育を実践します。

(河川課河川管理係)



河川清掃中の園児たち

県内ダムを紹介 ～ DC 特別企画～

◆群馬DC（デスティネーションキャンペーン）とは？

群馬DCは、2020年4月～6月の3ヶ月間、群馬県内の市町村や観光関係者と全国のJR6社などが一体となって行う大型の観光キャンペーンです。『心にググッとぐんま わくわく 体験 新発見』をテーマに、全国に誇る温泉や自然、歴史・文化遺産、グルメなど群馬の魅力を発信しています。

◆DC特別企画

群馬県は利根川の最上流に位置する水源県であり、県内には数多くのダムが存在します。県内のダムを周遊観光資源としてPRし、ダムの役割や魅力を知ってもらうため、群馬DCの期間中には県内のダムを対象としたDC特別企画を行う予定です。

今年のブレDCでは水資源機構所管の4ダム、群馬県県土整備部所管の10ダムを対象にブレDCオリジナル「特別カード」を配布し、たくさんの方にダムを巡ってもらいました。来年のDCでも、より多くの方にダムを巡ってもらえるような企画を考えていますので、ご期待ください。

ブレDCオリジナル「特別カード」の例



水資源機構所管



群馬県県土整備部所管

(河川課水害対策室防災係)

* あとがき *

ニュースレターへの掲載希望や、ご意見・ご質問がございましたら、下記送付先までご連絡ください。河川愛護活動や川づくりへの取り組みに関する情報を特に募集しております。

【送付先】群馬県 県土整備部 河川課 河川管理係 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1

TEL : 027-226-3612 / FAX : 027-224-1368 / E-mail : kasenka@pref.gunma.lg.jp

